

## 小町山山行報告

【山行日】2021年 11月 23(火) 晴れ

【集 合】野木町役場P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 800円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西

安西、飯口、嶋田、関、津佐

【コースタイム】野木町役場P7:00＝小町の館P

7:55/8:15～鬼越山 9:45/10:00～小町山

10:20/10:30～朝日峠展望台 11:00/11:15～

もみじ谷 11:30～小町の館 12:35/14:15＝JAサン

フレッシュ 14:25/14:45＝野木町役場P16:00



今年の2月に小町山に登った際に、登山道を整備した男性に「もみじ谷の紅葉はいつ頃が見頃ですか？」と聞くと、11月20日過ぎが見頃と聞き今回の計画を立てた。小町の館では3日前から新蕎麦が食べられると聞き、早めに下山して新蕎麦をいただくことにした。野木町役場を7時に



に出発し、国道125号線を東に進み小田十字路を左折して小町の館駐車場に着く。登山者用の外側の駐車場に車を止め、準備を整えたらトイレに移動しストレッチを行って出発する。小町の館西側の道路を北に向かって進み、Y字路を左に住宅の前を進む。途中にキーウイフルーツの無人販売があり、5個100円は安いとO嬢が飛びつく。余分な荷物を背負って歩くとは元気なことだったが口には出せない。

すぐ先に小町山登山口の大きな標識が立ち、右に山道を登って行く。馬頭尊や山ノ神を見送ると直ぐに尾根沢コース分岐があり、左の沢コース方面へ進む。さらに杉木立の中の道を進むと天の川沿いの登山道になり、小町山ノ神の先に東城寺への分岐となり左に東城寺方面に進む。

尾根を巻くように登山道が付けられ、熊の岩と呼ばれる大きな岩から尾根を登るようになる。

急坂に九十九折れの登山道が付けられ、登り切って傾斜が緩やかになると分岐に出る。左に進むと東城寺方面へ向かい、右に登ると目指す鬼越山へ向かう道になる。分岐が次々に現れるが、いずれも標識が立っていて迷うことは無い。

尾根を登って行くと再び九十九折れの急坂になり、子宝の木や三つ石、展望岩などの見どころが現れる。展望岩で小休止して、ナシや菓子を食べて疲れた足を休める。





この少し先で仲良し小道を右に分け、左に尾根を登ると松の木広場のベンチがある。

休まずに直登して林道を横切り、急坂を頑張って登り切ると372mの鬼越山山頂に着く。山頂はあまり展望が無いが、手作りのベンチが有りゆっくり休憩を取る。リンゴや菓子を食べ、記念写真を撮



ったら小町山へ向かう。林道まで戻り、林道を左に進むとパープルラインの舗装道に出て、直ぐに右の登山道を登ると361mの小町山山頂に着く。

こちらは南側が開けて展望が良く、小野集落から霞ヶ浦まで見渡せる。展望を楽しんだら女坂を下り、朝日峠展望公園分岐を左に進んで朝日峠展望台に向かう。杉の植林帯の道をグングン下り、沢を渡って朝日峠ハイキングコースに出たら左に急坂を登って行く。やがて平坦な道を歩くようになり、左に階段状の道を登ると朝日峠の駐車場に出てト

イレが建っている。トイレを済ませたら左の階段状の道を登り、開けた芝生の山頂に東屋が立つ展望台に出る。大勢の人が休憩しており、南側の斜面はパラグライダーの離陸場になっていて、パラグライダーの講習会が行われていた。展望台からの眺望が素晴らしく、登って来た鬼越山や小町山、宝篋山が望め、南には霞ヶ浦から東京のスカイツリーや新宿副都心のビルまで見渡せる。展望やパラグライダーの講習会を見ながら、手作りのアップルパイを美味しくいただいた。ここからお目当てのもみじ谷へ向かったが、途中の舗装道からもみじ谷に下る道が通行止めになっていた。「そんなの聞いてないよ！」と叫んだが、登山道修復工事の為通行止めの札が下がっていた。仕方が無く迂回路を進み、結局もみじ谷の紅葉は見る事が出来なかつ



た。こうなったらもう一つのお楽しみ、常陸秋蕎麦を食べようと順番取りに我輩が速足で下る。12時10分に着き、順番表に名前を書くが15番目で1時間待ちとの事。皆さんが12時35分に到着し、1時間位待ちますと言って了解してもらおう。靴を履き替えたりトイレ済ませたりして時間をつぶすが、中々順番が来ない。皆さん文句も言わず1時間35分待ってくれ、ようやく新蕎麦を食べられた。待った甲斐があつて、皆さんとても美味しかったと満足してくれたので安堵した。

食べ終わったらJAの直売所に向かい、JAサンフレッシュでお買い物。野菜やくだものが新鮮で安く、富有柿が安いので2袋買ったがとても美味しくいただいた。もみじ谷の紅葉が見られず、蕎麦も1時間半以上待たされたが、新蕎麦が美味しかったので皆さんに満足していただけた。